

クラウドファンディングへの期待

石田 富男

日本でクラウドファンディング（以下「クラファン」）サービスが始まったのは二〇一一年。これまでいくつかのプロジェクトに支援してきたが、昨年初めて実行者として愛知登文会のプロジェク「明治村の魅力」を伝える『あいちのたてもの 明治村編』を

『あいちのたてもの 明治村編』を完成したい」に関わることとなった。プロジェクトについては、ネクスト目標二二〇万円を上回る二八四万九千円の支援が得られ、現在冊子を制作中である。ここではこの取り組みを通じて感じたことを記してみたい。

寄付文化の広がり

今回のプロジェクトでは百七十六人から支援をいただいたが、驚いたのは愛知登文会にも明治村にも関係はないと思われる複数の方からリターンなしの支援をいただいたことだ。

日本には寄付をする文化が元々なく、寄付する人の割合は欧米と比べてかなり低いと言われているが、首里城再建プロジェクトに九億円以上、法隆寺の維持管理のプロジェクトに一億円以上の支援が集まるなど寄付文化が広がってきていると感じている。

明治村の魅力

冊子のテーマとして明治村をとりあげたのは、明治村が歴史的建造物の保存活用に果たした役割を知ってもらい、愛知県の誇るべき文化遺産として多くの方にその魅力を味わってほしいという想いからだ。明治村の全面協力により、SNSでこのプロジェクトを発信いただいたところ、「明治村大好きです、応援します」「明治村の魅力を広く伝える素敵な冊子を作ってください」と多くの明治村ファンの方から支援が寄せられ、その想いを強くしたところである。

あいちのたてものシリーズ

この冊子は愛知登文会が県内の登録有形文化財の魅力を紹介するために作成した「ものづくり編」「まなびや編」「いのりのば編」「すまい編」に続く五冊目の冊子となる。

これまでは文化庁の補助金を元に作成してきたが、今年度は補助制度の仕組みから補助金がない年となり、従来からの形での発行は断念せざるを得なかった。そこで、クラファンでの支援を募ることとしたわけだが、これまでの実績として目に見える成果物があり、明治村編の出来具合もイメージしやすかったことも支援につながったのではないかと感じている。

クラファン成功の秘訣

クラファンを運営している会社は多いが、どこを利用するかという点が重要なようだ。利用した READERFOR は日本初のクラファンサービスであり、寄付型、社会貢献事業者向けとされている。文化財の保存活用に関心を持つ方の利用が多いサービスだったことも成功の要因といえるだろう。

開始一週間の間にどれだけだけの支援が得られるかもポイントだという。実は支援金のうち五十万円は明治村からの支援。クラファンを利用すると手数料がかかるので直接支援いただいた方がよいのではとも思ったが、この支援が呼び水となって注目され、支援



小さいながらも魅力いっぱい清水医院

につながったという点は大きい。

また、関係者には事前告知することにも、精力的な情報発信を行った。支援者からの応援コメントで新たなリターン設定の希望をいただき、すぐに対応した。これらも成功に寄与したのではないかと感じている。

想いを持った人のプロジェクトに共感し支援することは、支援した人にとっても幸せを感じることができるとも、実行者にとっても多くの支援が集まることはやりがいを感じ、プロジェクトに対する思い入れが更に高まることがいくだろう。これからもクラファンを二つの立場で利用していきたいと思う。



明治村の魅力伝える

「あいちのたてもの 明治村編」

を作成したい

150万円達成
ネクストゴール
目指しています

~9/30
まで